

【 第21回 女子ジュニア世界選手権 】

2018年6月29日～7月15日 開催地:ハンガリー

試合結果報告 7月11日 (水)

JPN	VS	GER(ドイツ)
14	前半	11
8	後半	12
22	合計	23

個人得点

名前	前半	後半	合計
3 高木 奈央			0
4 辻野 桃佳			0
26 榎 和 奏			0
27 松浦 志織			0
28 並木 梨紗	1	1	2
29 大松澤 彩夏	2		2
31 鈴木 姫らら			0
32 金城 ありさ			0
33 安藤 かよこ		1	1
34 南 夏津美			0
35 中山 佳穂	6	5	11
36 相澤 菜月	1	1	2
37 舟久保 朱音			0
39 笠井 千香子	4		4
40 笠 泉 里			0
41 金山 桃歌			0
42 尾辻 素乃子			0
51 吉留 有紀			0
	14	8	22

戦評

13位決定戦はドイツと対戦。サイドプレイヤーのトランジションからロングでドイツが先制。日本も負けじと相澤のカットインで7mTを獲得し、中山が決めてすぐに同点に追いつく。その後、ロングを打ち込まれるが、GK舟久保のセーブに助けられ、一進一退の攻防が続く。お互いに得点できずに苦しい時間が続くが、笠井、大松澤の速攻、相澤のカットイン、中山の試合終了間際のステップシュートにより着実に得点していった日本が14-11とリードして前半を終える。

後半立ち上がり、ロングを打ち込まれ、開始早々14-14と振り出しに戻される。その後、一進一退の攻防が続くが、7人攻撃で精彩を欠くプレーが続いてしまい、なかなか得点ができない。この間に4連取を許し21-19と逆転されてしまう。残り5分、並木のシュートで22-22の同点に追いつくが、その後5分間に得点を奪うことができず、逆にドイツキャプテンZschocke M.にシュートを決められ22-23で敗退となった。

この試合の結果により、日本は最終順位14位で本大会を終えた。

報告記入者 :

新井翔太